

DD (情報不足)

チドリ目 シギ科

カテゴリー判定基準：a), b)

シベリアオオハシシギ

旧レッドリストカテゴリー		
1991	1998	2007
V	DD	DD

Limnodromus semipalmatus (Blyth, 1848)

英名：Asiatic dowitcher

全長33～36cm。嘴は真っ直ぐで長い。冬羽は頭部から背にかけて灰色で、腹部は白色であるが、幼鳥は首から胸、背、翼にかけて褐色がかかる。過眼線は目先にかけてははっきりしている。脚と嘴は黒色。夏羽は全身が赤みを強くおびた橙色となる。近似種のオオハシシギ (*Limnodromus scolopaceus*) は脚の長さや色が異なることで区別できる。体系はオオソリハシシギ (*Limosa lapponica*) に似るが、オオソリハシシギは嘴が沿っていることで区別できる。

シベリアのステップ地方西部から東部、モンゴル南部と中国東北部にかけてで繁殖し、インド東部とタイ、インドネシア、オーストラリア北部などで越冬する。日本では春秋の渡りの時期に稀に飛来し、全国の湿地や泥浜干潟、干拓地等で記録があるが、繁殖地と越冬地の位置関係からいずれも迷行してきたものであり、日本は本種の主要な中継地にはなっていないと思われる。生息に影響している要因は不明である (99)。

参考文献

- del Hoyo, J., A. Elliott and J. Sargatal(eds.), 1996. Handbook of the Birds of the World. Vol. 3. Hoatzin to Auks. Lynx Edicions, Barcelona. 821pp.
Marchant, J., T. Prater and P. Hayman, 1986. Shorebirds: an identification guide to the waders of the world. Croom Helm Australia Pty Ltd, Australia.
日本鳥学会, 2012. 日本鳥類目録改訂第7版. 日本鳥学会, 三田. 438pp.
日本鳥類保護連盟, 2002. 鳥630図鑑. 日本鳥類保護連盟, 東京.

執筆者：藤井幹 (公益財団法人日本鳥類保護連盟)

チドリ目 ウミスズメ科

カテゴリー判定基準：a), b), d)

マダラウミスズメ

旧レッドリストカテゴリー		
1991	1998	2007
R	DD	DD

Brachyramphus marmoratus perdix (Pallas, 1811)

英名：【Marbled murrelet】

体重258～357g、翼長136～147cm (オス)、130～145cm (メス) でオスがメスよりもやや大きい。夏羽では額から頭頂、後頸と上面は褐色で、黒褐色の斑が入る。喉と腹部は白色で、各羽に黒褐色の羽縁が入る。冬羽では上面は暗褐色で、下面は白色となる。ユーラシア東部の海岸と千島列島、アリューシャン列島、北アメリカ北西部で繁殖する。冬期には、繁殖地よりも南へ分布し、北日本沿岸に渡来する。本亜種は他亜種 (*B. m. marmoratus*) と比べ体が大きく、嘴がより長い。本亜種を別種 (*B. perdix*) とする見解もあり、日本鳥類目録改訂第7版 (日本鳥学会 2012) では、*B. perdix*として扱われているが、本書では先に公表された第4次レッドリストとの対応を図るため第6版に準拠した。日本での繁殖は、1961年に北海道小清水町藻琴山山麓で1例知られている。1997年および98年の7、8月に、知床半島周辺海域で2羽の成鳥と幼鳥が観察されているが、繁殖につながる証拠は見つかっていない。海岸から離れた内陸部の針葉樹の樹上などに単独営巣する特異な生態を持つ。

参考文献

- 福田佳弘, 2001. 知床半島斜里町側における海鳥の繁殖分布1997年・1998年. 知床博物館研究報告, 25: 69-74.
Gaston, A. J. and I. L. Jones, 1998. The Auk. Oxford University Press, Oxford. 349pp.
小城春雄, 1996. マダラウミスズメ. 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (III), pp. 520-524. 日本水産資源保護協会, 東京.
小野宏治, 2002. マダラウミスズメ. 環境省自然環境局野生生物課 (編), 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 -レッドデータブック- 2 鳥類, p. 243. 自然環境研究センター, 東京.

執筆者：新妻靖章 (名城大学)